

















名称	説明	只見	奥三面	羽村	沼津	徳山	滋賀	鹿児島	沖縄	さまざまな呼称	備考
狩猟用具											
神野善治											
 やり 槍	寒中にカモシカや熊などを捕獲するために用いられた槍。刃先は鍛冶屋が造り、柄は自製。アオシヤリ・クマヤリなどと獲物により刃先の形態や名称が異なる。	シツツキヤリ	アオシヤリ、クマヤリ			シヤリ、ヤリ	シツツキヤリ、カリ	ヤリ	ヤイ		
 りょうじゅう 猟銃	猪や熊、鹿などの狩猟用具として猟師（狩人）が用いた小銃が民具として残る。空砲を撃つて脅すときにも用いられたものもある。銃口から焰筒と鉛玉を入れ、火縄で点火する火縄銃に改良がくわえられて、明治期に村田銃となり、やがて今日のライフルへ替わる。	テッポウ、ヒナワジュウ	ムラタジュウ			ヒナワジュウ、ムラタジュウ		テップ、ムラタジュウ、リョウジュウ、カ、イリョウヒナワジュウ			【鉄砲】 かりやす・つつ・どんどろ 以上、【標準語引き方言辞典】（佐藤亮一）
 じゅうだん 銃弾	猟銃の弾丸。弾丸が単一か散弾かの別がある。銃弾は筒形の薬筒に多数の小粒の弾が入る。	タマ				ホンダマ		タマ			
 たまつくり 弾作り	狩猟用の火縄銃などに用いた弾丸を鉛で作るときの銚皿と銚型。二つに分かれる銚型の合わさったところに丸穴が空き、溶けた鉛を注いで弾が固まると開いて取り出せるように柄が付く。	タマツクリ				イガタ		タマツクイ、タマツクリ			
 たまいれ 弾入れ	猟銃の弾丸用の容器。木彫などで手造りのものがあつた。					ダンタイ		タマイレ			
 かやくいれ 火薬入れ	狩猟用の火縄銃などの鉄砲に用いる火薬を入れて持ち歩き、銃に充填するための口が付いた容器。	カヤクイレ									
 かんじき	雪の中での狩猟には必需品だった。	カンジキ	カンジキ								
 かなかんじき 鉄かんじき	雪中で歩くときに滑り止めに用いる補助具。鈎のついた小さな鉄棒を、雪香の下につけて凍った雪に差し込みながら歩く。	カナカンジキ	カナカンジキ								
 かわぐつ 皮沓	熊の毛皮などを縫い合わせて作った皮沓。雪中の狩猟では必需品だった。	クマクツ	カワタビ								
 しりかわ 尻皮	雪中の作業で休憩時などに腰掛けるときに尻が濡れないように常に腰につけておく毛皮。	シリシキ									
 こすき 小鋤	雪中で狩猟をするときに雪掻きをするへら状の道具。身体をささえ、また猟銃を使うときにも雪に立てて支柱にした。	コウシキ	クシキ								
 ゆみや 弓矢	狩猟に用いた弓矢が保存されている例は少ないが、アイヌの彫弓など、民族資料には特色のある資料が残されている例がある。また、実際に使われるものではないが、狩猟の儀礼に用いられたり、年中行事の作り物や縁起物の弓矢は今も作られている。関連する民具に矢筒などがある。										
 やまがたな 山刀	狩猟の際に、獲物の解体に用いる小刀。サントウ・ナガサ・キリハ・ヤマカラシ・ヤマナギ・マキリなどという。東北地方などで一般的な腰鉈をヤマガタナと呼んでいるところもある。関連で鞘に注目しておく必要がある。桜皮などを巧み美しく巻いて丈夫にしたものなどがある。	サバキコガタナ	キリハタナ			ヤマガタナ		ヤマキイ、ヤマキリ、ヤマカラシ	ヤマナジ、カタナ		【先の尖った山刀】 さすが・やまからし以上、【標準語引分類方言辞典】（東條操編）
 わな 罠	鳥獣を捕獲する仕掛けのひとつ。くくり罠・かぶせ罠・箱罠・箱落とし・とらばさみ（虎挟み）・おし（押し）などの各種があるが、まずは罠としておく。くくり罠は小鳥や獣の首や脚を縄やワイヤーで輪でくくって捕える仕掛けで、クブチ・ブツバジキなどの名がある。かぶせ罠は、網や籠などを被せて獲物をとらえる仕掛けで、オッカブセなどの名がある。箱罠はイタチなど小動物を狙い、中に入ると口が閉まって生け獲りにする仕掛け。箱落としは箱の蓋が中に落ちて圧殺する仕掛けでトイオトシ・ヒラオトシなどという。ネズミ捕りに類似がある。押し（おし）は熊などの比較的大型の獣を狙う圧殺型の罠。とらばさみは金属製で獲物の足を挟む。					バンナ		ワナ			
 ことりわな 小鳥罠	罠の一種で、野鳥の捕獲に用いられたもの。方式は微妙に違うものが各種あるが、木の枝などの弾力を利用して、紐で結んだ小枝がはずれて獲物をはさみ捕る仕掛け。バツタン・ブツメなどさまざまな呼称がある。							ウツツメ			
 いたちわな 鼬罠	罠の一種で、竹弓の弾力を利用して竹筒の中に入った鼬などの獲物の頭や頭を締め捕える。					イタチトリ	イタチトリ	イタチバコ			

※備考欄にはあなたの地域の呼称を記入してください

